

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 ぼんど		
○保護者評価実施期間	令和8年1月8日		令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年1月8日		令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○訪問先施設評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先の方々に寄り添った、丁寧な支援ができています	訪問員の考えを押しつけるのではなく、保護者や訪問先の方々に寄り添った話ができるよう努めています	今後も相手の立場に立つことを基本とし、丁寧な相談支援を行ってまいります。
2	本人に合った支援方法の専門的な知識や技術をもって提案ができています	研修参加や他機関との連携を図り、知識や技術の幅を広げる取り組みを行っています	連絡会などへ積極的に参加し、悩みの共有や情報共有を図れるよう努めてまいります。
3	情報共有が丁寧にできることで連携がしやすい	保護者や本人、訪問先となるべく連絡を密に行うようこまめな連絡に努めています	今後も関係機関や保護者との連絡を密に行い、円滑な連携に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問員が1人のため、回数や時間に制限が生じやすい	人員不足	訪問支援員の確保に向け、職員の育成や体制整備に努めてまいります。
2	お互いの困り感が一致しないことがある	障がい理解の欠如	障がい理解に関する共通理解を深めるため、情報提供や意見交換の機会の充実にも努めてまいります。
3	訪問先と保護者間の話し合いの場が設けられないため、支援に対するズレが生じやすい	面談設定の少なさ	フィードバックの機会を設け、訪問先だけでなく保護者など関係者が参加できる場の確保に努めてまいります。